【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2016-106655(P2016-106655A)
【公開日】平成28年6月20日(2016.6.20)
【年通号数】公開・登録公報2016-037
【出願番号】特願2014-243665(P2014-243665)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/16

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月24日(2017.11.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レンズの表面および裏面となる２つの光学面を備える眼内レンズを眼内に挿入する眼内レンズ挿入器具であって、
筒状の本体部と、
前記本体部の内部空間の中を先端側に向けて移動することで前記眼内レンズを押し出す押出部材と、
前記本体部に設けられ、前記押出部材によって押し出される前の前記眼内レンズを前記内部空間で保持する保持部と、
前記本体部に設けられ、前記保持部によって保持された前記眼内レンズが備える前記２つの光学面の少なくとも一方に対向する対向面と、
前記本体部に形成され、前記本体部の外部から前記内部空間に液状の潤滑剤を通過させる注入口と、
前記本体部のうち、少なくとも前記対向面が設けられる部位に形成され、前記注入口から注入された前記潤滑剤を、前記保持部によって保持されている前記光学面の内側に流す流路と、
を備えることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項２】
請求項１に記載の眼内レンズ挿入器具であって、
前記流路は、前記対向面の表面を陥没させることで形成された溝であることを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項３】
請求項１に記載の眼内レンズ挿入器具であって、
前記流路は、
前記対向面を形成する壁の内部に形成されるトンネル部と、
前記トンネル部を流れた前記潤滑剤を前記内部空間に流出させる流出部と、
を備えたことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。